

stage



●食間展パフォーマンス (1)

「食と食の間を旅するカメラ体験 (略称トラビト)」15枚どりの使い捨てカメラで一人一枚ずつシャッターを切り、通行人の中から次の人を見つけて、次々と道なりに、カメラが旅していくというもの。八戸市美術館に展示されます。



●食間展パフォーマンス (2)
BeFMスペシャル番組「ICANOF「S・O・I (ソイ)」の収録の様子。3月まで毎週日曜6:30pm放送中 (土曜11:30am再放送)



●食間展講師



飯沢耕太郎
(写真評論・著書多数)
サントリー学芸賞ほか受賞。



川端隆之
(詩人・文芸評論・戯曲家) 歴程新鋭賞受賞。



小沼純一
(音楽評論・著書、訳書多数) 8回出光音楽賞受賞。

●食間展ゲストアーティスト



ミロスワフ・パウカ
(現代美術家・ワルシャワ在住)



バク・ファヨン
(ソウル在住・現代美術)



福山知佐子
(日本画)

ICANOFメディアアートショー「食間展(しょっかんてん)」

～県内外から1000点以上の写真映像が一堂に会した市民参加型の「開放系」写真展

(出品者) 映像とオブジェと生活用品 (とくに廃物) による独創的な作品で世界的に知られるミロスワフ・パウカ (ワルシャワ在住) さんを筆頭に、ソウルから映像作家バク・ファヨン、東京から日本画の福山知佐子・半田晴子・吉田亨、県内外から岩田雅一・舩水流・高橋寛子・小倉俊一・道合政邦・柏瀬八峰・木村みよ子・佐藤安津子・坂本静香・大木真志男・大木栄子・花田悟美・樋渡勝・古館健一・金澤隆一郎・吉田善秋・田端義彦・石亀孝・下斗米淳子・伝法守・中村美佐子・小田原トモ子・矢木ゆうき・本田サチエ・赤坂修一・福岡広道・掛端甲一・宮崎淳一・安江希典・階上文明・船越敏・山内文子・梅沢公 (敬称略) ほか。

(会場) 八戸市美術館・天聖寺ホール・番町三新ビル・NHKハナミズキホールほか、市内各エリア。八戸市美術館は、2月15日(土)～23日(日)午前10時～午後7時まで。17日(月)も開館。ただし、15日は午後6時、最終日の23日は午後4時に閉館。

特別プログラム

- 講演「キュウリとカッパ」川端隆之 (詩人・歴程新鋭賞)
2月15日(土) 午後6時半～⑤天聖寺ホール (十六日町・木村書店隣り)
- パフォーマンス バク・ファヨン (現代美術家・ソウル)
2月16日(日) 午後3時～⑤八戸市美術館
- 講演「音楽と衰弱 (仮題)」小沼純一 (音楽評論家・出光音楽賞)
2月22日(土) 午後7時～⑤八戸市美術館
- 講演「写真の方舟」飯沢耕太郎 (写真評論家・サントリー学芸賞)
2月16日(日)・19日(水)・21日(金) ⑤ダンスパレエリゼ (ゆりの木通り)
- 青森県舞台芸術公演事業 ICANOFプロジェクト「ITADORI イタドリ」
公演16日は午後1:30開演、19・21日は午後7:30開演

(問い合わせ) 090-2998-0224 fax0178-45-9247 (事務局・高沢)

mail to: icanof@hi-net.ne.jp HP: http://www.hi-net.ne.jp/icanof

主催/市民アートサポートICANOF (米内安芸代表) 共催/八戸市美術館

「食と食の間は何がある?」

演劇空間スペースベン

先月12・13日、梅内美華子講演会「写真と短歌のゼブラゾーン」(天聖寺ホール)により、イカノフ・メディアアートショー「食間展(しょっかんてん)」(日本芸術文化振興基金助成事業)が開幕した。一昨年の「タイムラグ展」に続く、今回二度目の大型企画の柱は「市民参加型の開放系写真展」である。八戸市美術館は2月15日からの開館だが、番町にある三新ビルでは、先月12日から今月23日までたくさん写真を入れ替えて展示しているの、是非何度でも足を運んでみていただきたい。県内外から1000点以上の写真映像がいま、八戸の町に一堂に会している、そのことだけでもワクワクするような出来事である。

15日には、お寿司の河童巻と河童の頭の皿の起源について、東海大学で民俗学を教えている詩人の川端隆之さんによる講演。つまりは「メドツ」の話だ。ほかにも写真評論家の飯沢耕太郎さんの講演など盛り沢山。2月、「食間展」の様々なプログラムや作品群に立ち会っているうちに、「食と食の間」にある、私たちが見失い、忘れがちな出来事をきつと思えば、見つめ直すことになるだろう。そうでありたいと願っている。

＜文・ICANOF事務局長・高沢利栄＞

2月のFriday Amusement Negative Shop

- 2月 7日 (第470回)
- 2月14日 (第471回)
- 2月21日 (第472回)
- 2月28日 (第473回)

＜未定＞

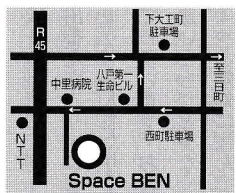
○FANS番外篇 2003年intelvista八戸公演 朗読劇「リュックシャック」

日時/2月9日(日)
開場14:00 開演14:30
会場/Space BEN
作・演出/沼澤豊紀
出演/織笠静子、渡部総子、田面木昭恵、長岡学、柳本泉、金浜典昭
TICKET 前売り1,000円 当日1,200円

※スペースベンでは、毎週月曜日午後7時30分から、沼尾美也子さんによりますジャズダンスレッスンを開催しています。一度見学にいらして下さい。

FANSでは、脚本を広く募集しています。何か表現したくても踏み出せないでいるあなた、一度「物語」を書いてみませんか? FANSでは、そんな方の思いを大切に舞台にのせてみたいと思っています。

※全て午後7時30分～、料金500円
チケットはスペースベンにて販売



駐車場はございませんので、車でのご来場はご遠慮下さい。(近くに西町駐車場有り)

問 スペースベン
八戸市柏崎1-11-8
☎43-9876
FAX03-5908-9120

上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい。